

岡山県議会議員

秋山まさひろ

県議会だより



9月5日～9月29日

令和4年9月 岡山県議会定例会

事務所：〒712-8066 倉敷市水島高砂町1番7号 TEL：(086)448-8833 発行人：秋山 正浩



令和4年9月岡山県議会定例会が9月5日から29日までの25日間で開催されました。今回の議会だよりにおきましては、私の所属する民主・県民クラブの代表質問の質問および答弁内容の要旨を一部ご紹介させていただきます。

新型コロナウイルス感染症について

感染拡大への備えについて、全数把握の見直しが検討される中、新たに登録センターが設置されることとなった。医療機関や保健所の負担軽減と同時に、必要な方に医療が適切に届けられる体制が求められる。今後も想定される感染拡大に備えるためには、より多くの医療機関において発熱外来や入院病床の受け入れに協力いただけることが必要と考えるが、所見を伺いたい。

【答弁】伊原木知事

第7波では、新たに多くの医療機関にご協力いただいたところであり、引き続き、コロナ診療の専門的知識や感染防止対策の研修会を開催するなど、県医師会、県病院協会等と連携しながら、医療提供体制のさらなる拡充を図ってまいりたいと存じます。



伊原木 隆太 知事

ワクチン接種について

県は県民に対し、ワクチン接種は発症や重症化を防ぐ効果があるとして、県民へワクチン接種を呼

びかけてきた。しかしながら、発症や重症化を防ぐ実感が少ないことなどから、接種を控える人も多い。国内における、その効果を裏付けるデータを提示し、県民が接種の判断をする際の参考となるよう、わかりやすい形で情報提供する必要があると考えるが、所見を伺いたい。

【答弁】伊原木知事

ワクチン接種の有効性、安全性などをわかりやすく情報提供することは、大変重要であると考えております。これまでも、国に対して、国内の最新データを示すよう要望するとともに、国等から示されたデータを元に、様々な媒体で広く周知してきたところであり、引き続き、希望される方が安心して接種できるように、丁寧な情報提供に努めてまいりたいと存じます。

県内産業について

現状認識について、新型コロナウイルス感染症の長期化に伴い、財務状況が脆弱化した企業は多く、足元では、円安や不安定な国際情勢、エネルギー・原材料価格の高騰など、厳しい経営環境が続いている。県では、これまでも資金繰りや雇用維持対策など、長期的な視点で様々な対策を行っているが、県内産業の現状認識について、所見を伺いたい。

【答弁】伊原木知事

県内製造業の生産は緩やかに持ち直しているものの、コロナ禍に加え、円安やウクライナ情勢により、原油や原材料価格が高騰する中、8月に実施した県の調査では、コスト上昇分を十分に価格転嫁できていないことから、幅広い業種で収益の

圧迫を受けるなど、県内産業は依然として厳しい状況が続いているものと認識しております。

中小企業の振興について

岡山県中小企業支援センターへの相談件数は、昨年同時期を上回る状況にある。地域産業を活性化させるためには、県内企業の99%を超える中小企業の振興が重要であり、本県経済の回復と維持、さらには持続的な発展につながる支援が重要と考える。国への働きかけも含めて、所見を伺いたい。

【答弁】伊原本知事

全国知事会の「くらしの安心確立調整本部」において、中小企業の事業支援等を国に働きかけるとともに、支援機関と連携し、地域経済の維持に必要な支援に取り組んでいるところであり、また、本県経済の持続的な発展につながるため、

デジタル化や省エネルギー、グリーン成長分野への支援など、将来を見据えた施策に積極的に取り組んでまいりたいと存じます。

人材確保について

民間調査によると、大学生の就職内定率は昨年を上回っているが、中小企業の労働力不足の問題は解消しておらず、依然として人材確保は厳しい状況にある。県内企業の人材確保に向けた支援策について、所見を伺いたい。

【答弁】伊原本知事

県内企業の労働力確保が厳しい状況にある中、県内外の大学等と連携し、インターンシップの参加促進や合同就職面接会の開催等を通じて、県内企業の魅力発信に取り組むなど、若者の人材選流と定着を図っているところであり、また、県内企業の求人にも細かく対応するため、お

やま就職応援センターにおいて、求職者との丁寧なマッチングを行っており、引き続き、こうした取り組みの充実を図りながら、県内企業の人材確保を支援してまいりたいと存じます。



地域公共交通について

JRローカル線における県の協議会の運営等について、県は、県内自治体やJRの担当課長で作る協議会を設立し、利用促進策を検討すると発表

したが、利用促進策だけでは根本的な問題解決につがらないという懸念が残る。利用促進以外の、より踏み込んだ方策について検討すべきと考えるが、併せて、所見を伺いたい。

【答弁】伊原本知事

先月末、第1回全体会を開催し、路線ごとの利用状況や、市町村等の利用促進の取り組みなどを共有するとともに、沿線自治体から要望のあった赤穂線と姫路線のワーキングチームを設置したところであり、今後、詳細な利用データなどに基づく効果的な利用促進策の検討に着手することとしており、その検討内容について来年1月に開催予定の第2回全体会で報告することとしております。また、県内全ての路線の利用促進策を検討することを目的としており、より踏み込んだ方策

の検討が必要となった場合には、国の検討会の提言等も踏まえ、県として適切に対応してまいりたいと存じます。

お試し乗車券の配布について

促進とし、県内小学生等に1,000円分のお試し乗車券を配布する経費などが補正予算に計上されたが、地域の公共交通の持続的な利用につながるようしなければならぬ。この施策に対する知事の思いと、成果をどのように検証し、今後の対策につげていくのか、併せて、所見を伺いたい。

【答弁】伊原本知事

子どものころから公共交通を利用し、その役割について理解を深めることが重要であることから、県内全ての小学生に、お試し乗車券付きの公共交通利用ガイドブックを配布するものであります。また、企業等での通

勤や出張などにおいて、自動車利用から公共交通利用への転換を促したいと考えており、この取り組みに賛同する企業等を対象に、乗車券を配布するものであります。

GIGAスクール構想について

GIGAスクール構想の実現に向けて、ICTを利用した教育方法は従来と大きく異なるため、指導する教員のスキル向上が必須となり、学校現場ではICT利用の推進が業務の負担増となっているケースが散見される。GIGAスクール構想の現状認識および、今後、どのように対応していくのか。また、ICTの特性を生かした個々の児童生徒に合わせた最適な効果的な学びの実現に向けて、どのような取り組みを行っているのか、併せて、所見を伺いたい。

【答弁】教育長

新たな環境の下で、学びの質を一層高めていくためには、学校現場を支援する体制整備が重要であり、各学校の実態を踏まえ、ICT支援員の配置などの支援を行っているところでもあります。また、ICTを活用した個別最適な学びの実現に向けては、現在、各学校において、授業の動画や関連資料等を配信し、児童生徒が必要に応じて復習できるようにしたり、個々の児童生徒の理解度に応じた問題が出題される学習アプリを活用して、苦手分野を繰り返し学習するなどの取り組みを進めているところでもあります。県教委では、効果的な取り組みが全県に広がるよう、優良事例の収集・普及に努めているところであり、引き続き、ICTを活用した学びの充実に努めてまいります。



**部活動の地域移行に
CSZ**

国の有識者会議において、中学校の部活動の地域移行が提言され、検討が進められている。本県では赤磐市、早島町、高梁市の中学校において、休日部活動の段階的地域移行や合同部活動の推進に関する実践研究を行っているが、どのような課題が浮かび、県全体の部活動改革にどのように反映させるのか。また、県教委として積極的に市町村教委・学校へ助言や情

報提供をするべきと考えるが、活動の地域移行に関する市町村教委との連携はどのように進められているのか、併せて、所見伺いたい。

【答弁】教育長

実践研究では、活動の運営主体、地域人材や財源の確保等が課題として明らかになっており、昨年度から設置している学識経験者や校長会、体育団体、保護者等による協議の場において、それらの課題を共有し、今後の対応について検討しているところであり、また、県教委として、全ての市町村が参加する地域移行説明会等を開催し、国の動向や実践研究の成果等を周知するとともに、今年度から配置した地域移行支援コーディネーターの活用を促すなど、各市町村での取り組みを支援しております。

交通死亡事故対策について

本県の令和4年上半期

交通事故発生状況について
過去5年の同期比で最も多くなり、高齢者が半数以上を占めている。本年の交通死亡事故をどのように分析し、対策を講じているのか。また、本年は自転車で用水路に転落する死亡事故が過去10年で最悪のペースとなっているが、用水路への転落事故の状況および県民が注意すべきポイントについて、併せて、所見を伺いたい。

【答弁】警察本部長

本年8月末の交通死亡事故は48件、死者数は49人であり、前年同期比で19人増加しております。車両単独や正面衝突、追突といった第一当事者の一方的な過失による事故での死者が全体の約6割を占めており、緊張感

の欠如や油断によるものと思われる事故が目立っております。県警察としては、常に緊張感を持って運転していただくために、交通指導取締りの強化、幹線道路を中心に交通事故多発場所を結ぶルートや時間帯を選定し、赤色灯を点灯した白バイ等による街頭活動を実施しております。また、亡くなられた49人のうち27人の方が高齢者であり、交通安全指導を推進し、事故の未然防止に努めております。さらに、広報啓発にも力を入れて取り組んでおります。次に、本年8月末時点の自転車用水路等への転落死亡事故は6件となっております。特徴としては、6件全てが夜間に発生し、うち5件は、比較的身近な道路で発生しているほか、5人には飲酒が認められました。転落の原因としましては、

ハンドル操作ミスや前方不注意が考えられ、事故防止のポイントとしては、飲酒運転をしないことや、夜間には自転車のライトを点灯することに加えて、通り慣れた道路であっても危険な箇所をあらかじめ把握しておくことが必要と考えています。これらのポイントを押さえた広報素材を作成し、交通安全教室等の機会において広く安全意識の高揚に努めているところであります。



知事提案説明要旨（抜粋）



新型コロナウイルス感染症関係について

県民の皆様の御理解と御協力をいただき、第7波のピークは越えることができたと考えておりますが、新規陽性者数、病床使用率ともに依然として高い水準で推移を続けております。現在、国から示された発生届の対象の限定への対応などについて検討を進めておりますが、今後とも流行株の特性に応じた対策を行い、社会経済活動との両立を図りながら感染拡大

防止に全力を尽くしてまいります。

コロナ禍、物価高騰に対する経済対策について、省エネ設備等への更新を行う中小企業に対して支援を行っているほか、原油価格高騰に直面するバス、タクシー、鉄道などの地域公共交通事業者に対しましては、事業の継続支援につなげてまいります。さらに、物価高騰の長期化が見込まれる中、国における一元的な対応が必要であることから、地域の生活や経済活動のさらなる支援のための強力な対策を国に働きかけたところであり、引き続き、様々な機会を通じ、国に地方の意見をしっかりと伝えてまいります。

教育岡山の復活につなぐ

学力向上について、7月に公表された全国学

力・学習状況調査の結果が、昨年度に続き、小・中

学校ともに平均正答率が全国と同等となり、特に小学校については、国語と理科が全国平均を上回るなど、一定の成果が現れたものと考えております。今後も、授業改善や児童生徒の学ぶ意欲を高める取り組みを一層推進するなど、児童生徒の学ぶ力のさらなる育成に全力で取り組んでまいります。

地域を支える産業の振興について

企業の「稼ぐ力」の強化について、中四国最大級の展示商談会である「おかやまテクノロジーズ2022」を開催することとしており、感染症対策を講じたリアル展を11月に開催し、それに先立ちオンライン展を公開することで相乗効果を図り、県内企業の新たな

ビジネスチャンスの創出や競争力強化に取り組んでまいります。



EVシフトについて、多くの県内サプライヤーが部品を供給する、新型の軽自動車EVが6月から販売開始されたところ

であり、本県における自動車産業の持続的発展やEV普及の大きな弾みになるものと期待されております。引き続き、関連企業の技術開発力のさらなる向上や取引拡大につながるよう、EVシフトに対応した取り組みを推進してまいります。また、EV等の導入の利点や、国や県の補助制度をわかりやすく広報するとともに、充電環境の整備に向けた支援に取り組む、

EV等の普及をさらに後押ししてまいります。

安心で豊かさが実感できる地域の創造について

防災対策の推進について、災害時に外部からの支援を円滑に受け入れることができるよう、市町村に体制整備をお願いしており、今後、専門家を派遣し市町村の実情に応じた受援計画の作成を支援してまいります。

個別避難計画等の作成について、これまでモデル事業で蓄積してきた作成のノウハウをマニュアルに取りまとめるとともに、引き続き、防災と福祉の関係者の連携強化等に取り組み、早期の計画作成を促してまいります。

JR在来線について、市町村等と連携した利用促進の取り組みをさらに強化するため、新たに「岡山県JR在来線利用促進

検討協議会」を設立し、

本年8月に第1回会議を開催したところであります。国の有識者検討会による「地域の将来と利用者の視点に立ったローカル鉄道の在り方に関する提言」を踏まえた国の動向も注視しながら、引き続き、県として必要な対応を行ってまいります。

※その他の内容等については、岡山県議会ホームページ内にある、議会映像配信をご覧ください。

●岡山県議会ホームページ

<https://www.pref.okayama.jp/site/gikai/>



●議会映像配信（ライブ中継・録画中継）

<https://www.okayama-pref.stream.jfit.co.jp/>

